

令和元年度 高知県道路利用者会議 高知県要望活動

令和元年11月15日(金)に高知県道路利用者会議（会長：楠瀬 賢一、副会長：山中 忠夫、副会長代理：西村 伸也）が、国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所及び中村河川国道事務所に「四国8の字ネットワークの整備促進」や「国道33号の整備促進」、「国道55号室戸市浮津において歩行者の安全確保のためのガードレール設置」などについて要望を行いました。

■要望項目

- 1 四国8の字ネットワークの整備促進
 - ・早期開通
〔窪川佐賀道路、佐賀大方道路、大方四万十道路、高知南国道路、南国安芸道路、安芸道路、海部野根道路〕
 - ・早期事業化
〔四国横断自動車道「宿毛～内海」
阿南安芸自動車道（奈半利～安芸、野根～安倉）〕
- 2 国道33号の整備促進
 - ・高知西バイパス（鎌田～波川）
 - ・越知道路（2工区）
- 3 国道55号室戸市浮津において歩行者の安全確保のためのガードレール設置
- 4 高知県内の交差点等における地点案内表示の設置



▲左から高知県交通安全協会 岡田次長、西村副会長代理、楠瀬会長、山中副会長

■国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所・中村河川国道事務所への要望

平岩洋三所長からの回答

- 1 予算をしっかりと確保し、着実に整備を進めていく。
- 2 高知西バイパス（鎌田～波川）
 - ・令和2年度供用に向けて鋭意工事を進めている。越知道路（2工区）
 - ・新横倉トンネルや橋大橋の上部工に着手し、工事を着実に進めている。
- 3 歩行者の安全確保については、近年、事故が多発するなど、国としても大きな課題として認識している。
土佐国道事務所と室戸警察署とで現地を確認し、対策としてガードレールやポールコーンを設置したいと考えている。
- 4 自分がいまどこにいるのかを把握するためには、地点案内表示の整備が必要である。
今後、標識分科会高知県ブロック部会において議論し、設置について高知県と連携して取り組んでいきたい。



▲楠瀬会長から平岩土佐国道事務所長へ要望書を手交



▲要望活動の状況(平岩土佐国道事務所長からの回答)